

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～ 第5回

1. 実施日

令和4年6月2日（木）6限

2. 場所

HR 教室（331 教室・332 教室）

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 ミューリニコラス 矢野 和久
7組 戸田 雄一郎 佐々木 啓成

5. 内容

- (1) 研究チームで着席させ、パワーポイントスライドを使用して本日の内容について説明する。
 - ・担任が研究チームを事前に発表しておく。
 - ・研究チームはクラスの間人関係を考慮して担任が決定する。
- (2) 「進路とのつながりにおける自分の興味・関心」についてスピーチをする。
自宅課題として、「進路とのつながりにおける自分の興味・関心について」をテーマにマンドラートを作成させ、それをを用いて4人グループで1人3分間のスピーチをする。
- (3) 発表者のスピーチが終われば、グループ内で聞き手が順番に質問をする。
2分間の質問時間を設け、その時間内で質疑応答を繰り返す。
※(2)と(3)を4回行う。欠席者のいるグループはさらに質問時間を設ける。
- (4) それぞれのスピーチを参考にしながら、研究分野を決める。
研究分野とは、教育、環境、食品などのことを指す。
- (5) マンドラートに決定した研究分野を記入して提出する。
次回用の事前課題を配布して説明する。

6. 学び

- (1) スピーチ力と聞く力を高める。
- (2) 質問力を高める。
- (3) ディスカッションを通じて、目的を達成できるチームワークを育てる。

7. 次回への課題

マンドラートを使用しながら、自分の興味関心についてスピーチをしたが、マンドラートに書いたキーワードを述べているだけのスピーチも見られたので、途中で説明の質を高める指示をした。

8. 授業の振り返り

1人3分のスピーチでは、マンドラートを使用しながら、3分間、スピーチし続けることができている。聞き手もメモをとりながら真剣に聞くことができ、質疑応答も活発に活動できていた。研究分野の決定では、食、ものづくり、和菓子、環境、国際など研究分野も多岐にわたっていた。